TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

英ヒースロー空港、貨物輸送量最高値を記録

TOKIO MARINE NICHIDO
東京海上日動火災保険株式会社
（2017 年 9 月 1 日）

今年 7 月、ロンドンヒースロー空港は貨物輸送量の史上最高値を記録しました。記録更新の主な要因としてはアメリカン航空による大西洋横断輸送の急増が挙げられています。今号では、輸送量増加の要因や今後新設が予定されている第 3 滑走路についてお伝えいたします。

1. ヒースロー空港の貨物輸送量について

同空港は欧州第 4 位の貨物主要空港として 143,000 トンの貨物輸送を処理し、今年に入って 7 ヶ月で交通量 10%増量の 966,580 トンを記録、12 ヶ月で 7.7%増量の 1,630,000 トンを記録しました。

ヒースロー空港の 7 月の輸送量記録は前年同時期対比 13.4%増加しましたが、これはアメリカン航空の輸送量が 44%も増加したことに起因しており、とりわけ北米-イギリス間の輸送が輸送量を伸ばしています。

アメリカン航空はヒースローとアメリカ間を毎日 20 便走っている直行便とオランダ・ドイツ・フランスを結びつけるトラックによる運送事業を拡大することで、ヒースロー空港における存在感を増しています。これに加えボーイング 777-300 や 787 を含む貨物を運びやすい航空機の導入もヒースローでの貨物輸送量を増加させる一因となっています。

また、貨物分野において成長をとげている中国・香港・シンガポールとの輸送量の増加により、東アジアとの輸送量も 14%増加しています。上記影響を受け、ヒースロー空港は欧州第 1 位の主要空港であるフランクフルト空港を上回る成長を見せています。

ヒースロー空港はロンドンの西部 23km に位置する
（地図：Google map）

2. 第 3 滑走路新設に関する今後の見通し

昨年 10 月 25 日、イギリス政府によりヒースロー空港に第 3 滑走路と第 6 ターミナルを新設することが決定されました。環境汚染やコスト面で反対意見も多く出ているものの、イギリスの EU 離脱が進む中で「イギリスがビジネスに開放的である」ことを示す手段として、また雇用拡大が期待されるために決定されたとみられています。

日本からの直行便は現在羽田空港と成田空港のみですが、第 3 滑走路が完成した際は関西国際空港にも直行便が就航する予定であり、世界全体で最大 40 都市への直行便が可能と見込まれています。

2025 年に予定している新滑走路完成後には日本を含むアジア諸国とイギリス間の輸送量がさらに増えることが予想されます。

◇◆◇◆◇◆